

⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報(A)

昭64-54853

⑬ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和64年(1989)3月2日

H 04 M 3/42

E-8426-5K

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

⑮ 発明の名称 着信拒否サービス機能付自動交換機

⑯ 特 願 昭62-211834

⑰ 出 願 昭62(1987)8月25日

⑱ 発 明 者 小 島 佐 和 子 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑲ 出 願 人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑳ 代 理 人 弁理士 内 原 晋

明 細 書

1. 発明の名称

着信拒否サービス機能付自動交換機

2. 特許請求の範囲

着信拒否サービス機能および追加ダイヤル受信機能を有する自動交換機において、

主記憶装置の端末データ領域に端末毎に追加ダイヤル番号領域が設けられ、

着信拒否が設定されている加入者が追加ダイヤル番号をダイヤルすると、該ダイヤル番号を該加入者対応の追加ダイヤル番号領域に登録し、着信拒否中、追加ダイヤルがあった場合、該追加ダイヤル番号を前記追加ダイヤル番号領域において検索し、追加ダイヤル番号が検索された場合、発呼側端末と着信側端末との相互接続を行なう手段を中央制御装置に有することを特徴とする着信拒否サービス機能付自動交換機。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は着信拒否サービス機能付自動交換機に

関する。

(従来の技術)

従来、自動交換機における着信拒否方式では、着信拒否を設定している端末に対して例外的に着信させる方法としてプライオリティの高いクラスから、あるいは交換機に半固定的に定められ特定の者に対してのみ知らされている端末番号を送出することにより着信を可能とする方式となっていた。

(発明が解決しようとする問題点)

上述した従来の着信拒否方式は、着信拒否を設定している端末に対して例外的に着信させる方法として、交換機のオペレータ側で1つの端末に対し2つの端末番号を半固定的に定め、そのうちの一方を非公開とし、該番号を特定の発呼者へ知らせるという方法がとられていたため、端末から希望の追加ダイヤル番号を設定することはできず、したがって一度、ある特定の発呼者に非公開の端末番号を知らせてしまうと、該発呼者に対しては当分の間着信拒否が行なわれず、自由に着信拒否

の対象を変更することができないという欠点があり、また、該番号が長時間変更されないということで本来秘密にしておくべき非公開の端末番号が第3者に漏れる可能性がでてくるという欠点がある。

(問題点を解決する為の手段)

本発明の着信拒否サービス機能付自動交換機は、主記憶装置の端末データ領域に端末毎に追加ダイヤル番号領域が設けられ、着信拒否が設定されている加入者が追加ダイヤル番号をダイヤルすると、該ダイヤル番号を追加ダイヤル番号領域に登録し、着信拒否中、追加ダイヤルがあった場合、該追加ダイヤル番号を前記追加ダイヤル番号領域において検索し、追加ダイヤル番号が検索された場合、発呼側加入者と着信側加入者との相互接続を行なう手段を中央制御装置に有している。

(作用)

したがって、着信拒否が設定された状態でも着信拒否の対象を自由に変更することができる。

(実施例)

域には端末21,22からダイヤル操作で設定する追加ダイヤル番号が登録される。端末設定データの領域には、端末21,22からダイヤル操作で設定する機能データが登録される。端末21,22のそれぞれは主スイッチ端末A、Bに接続される回線の回線位置A、Bそれぞれの端末データ記憶領域にデータが記憶される。端末21,22のそれぞれには電話番号「1234」、「5678」が登録記憶されている。

表 1

回線位置	回線状態	端末番号	追加ダイヤル番号	端末設定データ
A		1234		
B		5678	11	着信拒否

次に、本実施例の動作を説明する。

(1) まず、端末22の着信拒否設定について説明する。まず、着信拒否の登録要求のため端末22が発信する。中央制御装置40はインターフェース

次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。

第1図は本発明の着信拒否サービス機能付自動交換機の一実施例を示すブロック図である。主スイッチ10はインターフェース23,24を介して主スイッチ端子A、Bのそれぞれを、ならびにレジスタ30を收容接続して相互に交換接続する。端末21,22は、主スイッチ10の主スイッチ端末A、Bのそれぞれにインターフェース23,24を介して接続されている。中央制御装置40はインターフェース23,24、レジスタ30、および主記憶装置50と結合してデータ情報を授受し主スイッチ10の交換接続を制御する。主記憶装置50は表1に示すように端末データ記憶領域として回線位置に対応して回線状態、端末番号、追加ダイヤル番号、端末設定データの各領域がある。回線状態の領域には、回線の空室等の状態が回線状態の変化に伴って記録される。端末番号の領域には、予め保守者・運転者が書込むデータで端末回線の位置に対応する端末番号が設定されている。追加ダイヤル番号の領

24を介して端末22の発信を回線位置Bで検出し、主記憶装置50の回線位置Bの回線状態の領域を空状態から発呼状態にデータを変更すると共に、主スイッチ端子Bの收容回線を主スイッチ10を介してレジスタ30に接続し、接続したレジスタ30の番号を記録する。レジスタ30は着信拒否のダイヤル符号を受信し、中央処理装置40に転送する。中央処理装置40は主記憶装置50の端末データ記憶領域で、着信拒否符号を受信したレジスタ30の番号から回線位置Bの領域の端末番号の「5678」に対する端末設定データの領域に「着信拒否」を記憶・登録し、登録終了信号を発呼端末22へ送信するよう制御する。

(2) 以上の着信拒否手続き終了後、発呼者が、ある特定の追加ダイヤル番号によってのみ着信拒否を行なわない追加ダイヤル番号登録について説明する。まず、追加ダイヤル番号登録のため、端末22がダイヤル符号「99」をダイヤルして発信する。中央制御装置40はインターフェース20を介して端末22の発信を回線位置B

で検出し、主記憶装置50の回線位置Bの回線状態の領域を空状態から発呼状態にデータを更新すると共に、主スイッチ端子Bの収容回線を主スイッチ10を介して接続したレジスタ30の番号を記録する。レジスタ30は発呼者が決定する任意の追加ダイヤル番号「11」を受信し、中央処理装置40に転送する。中央処理装置40は主記憶装置50の追加ダイヤル番号領域で、追加ダイヤル番号登録のダイヤル符号を受信したレジスタ30の番号から回線位置Bの領域の端末番号の「5678」に対する追加ダイヤル番号の領域に追加ダイヤル番号「11」を記憶・登録し、登録終了信号を発呼端末22へ送信する。

- (3) 次に着信拒否および追加ダイヤル番号を登録済の端末22へ着信呼があった場合について説明する。発呼者は通常、端末番号「5678」をダイヤル操作して端末22への接続を要求する。レジスタ30は発呼者から端末番号「5678」を受信し、中央制御装置40へ転送する。中央制御装置40は端末番号の領域で端末番号「567

8」を検索し回線位置Bの領域の端末設定データから着信時のデータとして「着信拒否」の登録を取出すので、主スイッチ10を制御して発呼者へ着信拒否信号を送出する。この時点で、発呼者は端末番号「5678」が着信拒否の状態であることを認識するが、発呼者が、あらかじめ知らされている、主記憶装置50内の追加ダイヤル番号内の追加ダイヤル番号を端末22から発信して端末22への接続を要求する。レジスタ30は発呼者からの追加ダイヤル番号「11」を受信し、中央制御装置40へ転送する。中央制御装置40はレジスタ30の番号から検索される端末番号の領域で追加ダイヤル番号が「11」であることを検索するので、中央制御装置40は主スイッチ10を制御して主スイッチ端子Bに呼出信号を送出する。中央制御装置40は端末22の応答を得て発呼者に主スイッチ端子Bを接続することにより着信拒否を設定した端末22を発呼者に接続する。

(発明の効果)

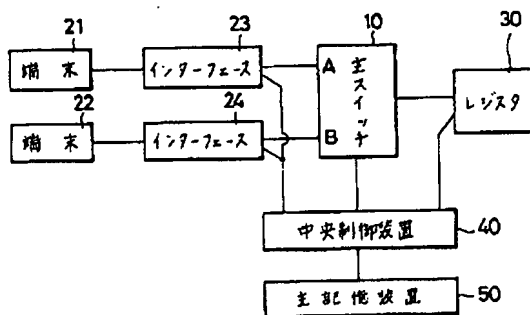
以上説明したように本発明は、主記憶装置内に追加ダイヤル番号領域を設け、端末から追加ダイヤル番号を主記憶装置内の前記領域へ登録し、発呼側端末からの追加ダイヤル番号を検索する手段を設けることにより、着信側端末が「着信拒否」の設定を行なった状態でも、発呼者が、あらかじめ知らされている主記憶装置内の前記領域へ登録されている追加ダイヤル番号をダイヤルすれば着信拒否を設定した端末への着信可能になり、着信拒否の対象を自由に変更できる効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の着信拒否サービス機能付自動交換機の一実施例を示すブロック図である。

- 10…主スイッチ、
- 21, 22…端末、
- 23, 24…インターフェース、
- 40…中央制御装置、
- 50…主記憶装置。

特許出願人 日本電気株式会社
代理人 弁理士 内原 晋



第 1 図

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-054853

(43)Date of publication of application : 02.03.1989

(51)Int.Cl.

H04M 3/42

(21)Application number : 62-211834

(71)Applicant : NEC CORP

(22)Date of filing : 25.08.1987

(72)Inventor : KOJIMA SAWAKO

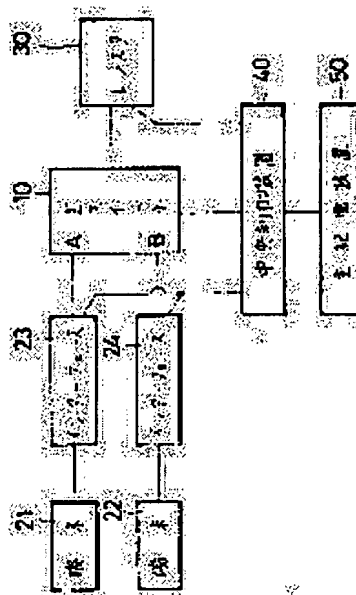
(54) AUTOMATIC EXCHANGE WITH INCOMING REJECTION SERVICE FUNCTION

(57)Abstract:

PURPOSE: To enable the arrival of incoming at a terminal on which incoming rejection is set by dialing a registered additional dial number and to freely set the object of the incoming rejection even in a state where the (incoming rejection) is set on an incoming side terminal, by providing a means to retrieve an additional dial number from a call issuing side terminal.

CONSTITUTION: An additional dial number area is provided at every terminal in the terminal data area of a main memory device 50, and when a subscriber on whom the incoming rejection is set dials the additional dial number, the dial number is registered in the additional dial number area. A means which retrieves the additional dial number in the additional dial number area

when an additional dial is issued in performing the incoming rejection, and performs mutual connection between a call issuing side subscriber and an incoming side subscriber when the additional dial number is retrieved is provided in a central control unit 40. In such a way, it is possible to change the object of the incoming rejection freely even in the state where the incoming rejection is set.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]